

瑞穂っ子だより

瑞穂小学校新聞 第6号
平成29年9月28日(木)

～ かしこく やさしく たくましく ～

2学期に入り、早1ヶ月が過ぎようとしています。

各地区では秋祭りが行われ、地域の行事にも積極的に参加している様子が子どもたちからも聞こえてきます。寒暖の差が激しいこの季節、体調が優れない子も何人か見られますが、学校ではどの学年も落ち着いて学習に励んでいます。

今年度から児童やご家庭の負担を考慮し、夏休みの課題のうち科学作品と自由課題は選択制といたしました。それに伴い、自由課題の校内審査は行いませんでした。ご了承ください。

7月後半から9月までの栄光の記録をご紹介します。

<7月26日 羽咋市小学生水泳記録会>

50m自由形 5年男子 1位 大江竜生 35" 60 6年男子 1位 井戸太陽 39" 37
50m平泳ぎ 6年女子 3位 廣島菜月 57" 25 6年男子 3位 杉浦拓真 56" 18
50m背泳ぎ 5年男子 1位 大江竜生 44" 90 (大会新)
4×50mリレー 5年男子 1位 大江・松館・石井・多々見 2' 56" 55
4×50mリレー 6年男子 3位 岡山・中村・藤巻・井戸 3' 06" 92

<羽咋市 科学作品コンクール>

特選 2年 至極 彩生 3年 村田 幸 5年 至極 遼納
入選 1年 井上 晃希 3年 中野 煌仁 4年 松本 愛菜
5年 小笠原克彦 杉浦 千春
6年 廣島 菜月 杉浦 拓真

<羽咋郡市 科学作品コンクール>

特選(県出品) 2年 至極 彩生
「ゆっくりたのしめるアイスはどれかな？」
特選(県出品) 3年 村田 幸
「のびのびきょうそう ひまわりの大すきな ひりょうをつくろう！！」
入選 5年 至極 遼納
「ものの構造と水をすいこむ量のちがいを」

<三行詩コンクール>

優秀賞 4年 立中 大晴

<いしかわっ子駅伝交流大会スローガン>

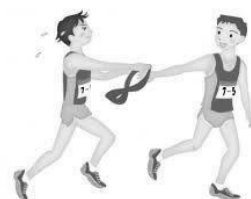
優秀作品 5年 石崎 陽菜 『つなげよう チームの思いと このたすき』

<ハトマーク賞児童画コンクール>

ハトマーク賞 2年 至極 彩生

<小学生動物愛護絵画>

石川県知事賞優良 3年 村田 幸



9月13日(水)避難訓練(地震)・防災教育講演会・研修会

校長室日より4月号でもご紹介したとおり本校は今年度、石川県実践的防災教育総合支援事業の指定を受け、防災教育の推進に力を入れています。

その一貫としてこの日、金沢大学人間社会学域 青木賢人准教授と林紀代美准教授をお招きし、校舎内を巡回していただき防災に対する備えについてアドバイスをいただきました。その後、本校の地震を想定した避難訓練の様子を見ていただき、全校に向けてご指導いただきました。

また、児童下校後は、職員対象の防災に関する研修会も行いました。研修では、瑞穂小学校の地域の特性や環境条件を考慮し、想定される3つの災害「地震」「津波」「水害」に特化して具体的にお話していただきました。

保護者の皆さまにも、ぜひ知っておいていただきたい内容でしたので、ここにご紹介します。

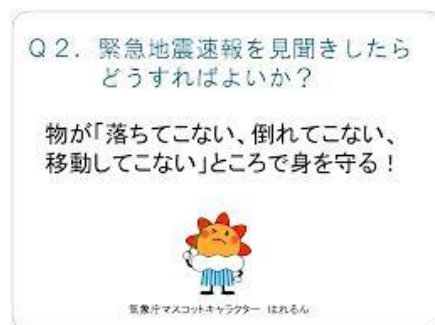
<地震について>

- ・地震は、いつ起こるか想定は難しい。
- ・専門家によるとこの地で、30年以内に地震が起こる可能性は2%といわれている。ただし、熊本地震は0.9%といわれていたが、実際には地震が起きている。
- ・邑知潟断層帯があり、震度6強を想定する必要がある。
- ・羽咋市の避難所としての指定を受けている。
- ・羽咋市は集中備蓄で巡回車が食糧等を巡回して運ぶシステムになっている。従って避難所開設の場合は、巡回車の運搬経路の確保が重要である。
- ・地震発生後に地盤は液状化現象を起こしやすい土地である。



<水害について>

- ・水害は、外部情報をたよりに事前に避難の判断ができる。
(石川県河川総合情報システムで『警報』でもかなり危険)
- ・瑞穂小学校は平地に立地しており、比較的 안전한場所
- ・児童が在校中ならば学校に留めおいた方が安全
- ・保護者への引き渡しのタイミングを考える必要がある。



<津波について>

- ・瑞穂小学校は避難計画区域外にあたる。
- ・津波発生時は学校が避難場所になる可能性が高い。

<児童の引き渡しについて>

- ・親が帰れない場合も想定しておくことが大切
(例：保護者が福祉関係、公務員、インフラ関係等の職業の場合は勤務が優先される)
- ・水害・津波の場合は引き渡しのタイミングを学校が判断する。
- ・引き渡しカードで安全監督者を明確にし、チェックの機能化を図る。
- ・たとえ近所でも「隣の〇〇ちゃんも一緒に連れて」は禁物。引き渡し登録者に引き渡す。

<避難所開設について>

- ・学校は児童の安全確保と同時に地域の避難所開設も想定される。児童の引き渡しや安全確保を優先するためにも、開設に向けた地域のマンパワーの充足が重要になってくる。

11月24日(金)は、授業参観後、児童の引き渡し訓練を予定しています。その際、金沢大学青木先生と林先生にもお越いただき、防災に向けたお話を保護者の皆さまを対象にさせていただく予定です。また、当日は実際に引き渡しの手順を、学校と保護者で確認しながら実践してみます。趣旨をご理解の上、なるべく多くの皆さまにご参加いただきますようお願いいたします。なお、詳しいご案内は、後日お子さまを通じてお渡しいたします。